

特別研究助成 成果報告

展覧会「ON PAPER 紙にとどまるもの」

Report on the exhibition “ON PAPER: What stays on paper

長尾 浩幸

NAGAO Hiroyuki

展覧会「ON PAPER 紙にとどまるもの」

Report on the exhibition "ON PAPER: What stays on paper"

長尾 浩幸
NAGAO Hiroyuki

教授（絵画・版画・現代美術）

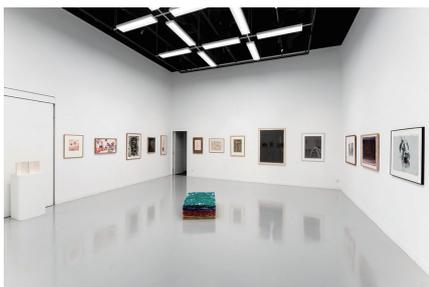
The exhibition "ON PAPER: What Stays on Paper" was held at Seian University Art and Design Art Center Gallery Art Site and other venues. The term "works on paper" is used in a broad sense to include any artistic work that uses paper as its support. All of the works in this exhibition, including paintings, drawings, prints, photographs, collages, objects, and sculptures, use paper in some form or another. Even in our paperless society, many artists still use paper. The works on display are primarily from the author's private collection. The exhibition will feature approximately 55 contemporary art prints related to postmodern contexts from the 1970s and 1980s onward, as well as drawings and objects on paper. The exhibition will also feature works on paper from unique perspectives providing an opportunity for an overview of the changing of print expression over time and the trends in contemporary art. At the same time, we would like to take this opportunity to deepen our understanding by discussing "printmaking and education," "media and criticism," and "printmaking and design" in light of the historical background.

はじめに

「Works on paper」の意味は、紙を支持体とするあらゆる芸術作品を含む広義の用語として使われている。本展では、絵画、ドローイング、版画、写真、コラージュ、オブジェ、彫刻など、展示される作品はすべて何らかの形で紙を使用している。ペーパーレス化を進める社会においても、未だ多くのアーティストたちは表現するときに紙を使っている。紙は平面であっても、単に下地として機能するだけでなく、質感や彫刻的な次元を加えることで表現の幅が広がる。また、紙の上で繰り返し広げられるトライ＆エラーの過程を意識することで、新しい視覚効果が生まれてくる。さらに技法や手業だけでなく、積極的にITスキルを活用して既成の境界線に挑戦し続ける場合もある。紙の作品のなかに込めた思考や痕跡は、たとえ時が過ぎても新しい解釈を生み出し、その感性はいつまでも紙にとどまっている。



会場入口 年表と年代物の美術雑誌を置いた展示台



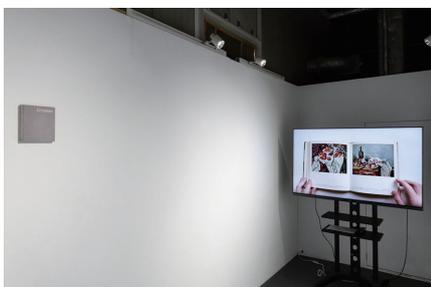
ギャラリーアートサイトの会場風景



ギャラリーウインドウの会場風景
手前・井田照一 奥・馬場晋作



エントランススペースに置かれた展示ケースに展示されている、『グラフィケーション (GRAPHICATION)』第69号 [写真下] とその原画・吉原英雄作 [写真] 1972



長尾浩幸 画集の木、「review of art book」2023 右・インクジェットプリント、アワガミ、木 左・映像

研究概要

本展では、戦後の美術運動の一つであったデモクラート美術家協会の周辺や京都市立芸術大学版画研究室と繋がりのある作家を紹介した。長尾の個人コレクションの中心となっている70年代、80年代以降のポストモダンの文脈に関する現代アートの版画に加え、ドローイングや紙によるオブジェなど約55点を展示した。また、本学とゆかりのある作家からは、独自の視点から紙を支持体とする作品を取り上げて、時代と共に変容する版表現と現代美術の動向が概観できる機会にした。同時に、時代背景を踏まえて「版画と教育」「メディアと批評」「版画とデザイン」について考察した。1960年代後半以降の「印刷とデザイン」やアートの潮流を年表や資料と合わせて紹介し、当時の出版物や雑誌のページをめくりながら手元で眺めることで、グラフィックアートや印刷文化を振り返る試みであった。

鑑賞教育の研究と実践

作品の見方や楽しみ方について「展覧会リーフレット」と成安造形大学総合領域の学生による「鑑賞のてびき」を作成して活用した。また、会期中には、いくつか異なる内容のギャラリートークを適時に実施した。オープンキャンパスでは、広報活動の一つとして会場に訪れた受験生や保護者らに向けて短いレクチャーを行い、より作品の魅力を楽しんでもらえるように努めた。美術領域洋画コースの授業においてはドローイングや版画制作をしている学生を対象に、版画の歴史や現代版画の作品についてレクチャーを行った。ドローイング、版画、写真などの観賞については具体的に紙をもとにどのようなプロセスや技法が効果的に使われているのか、それぞれの作家によって作品に込められた意図や時代背景を解説した。さらに展覧会「ON PAPER 紙にとどまるもの」鑑賞に合わせて、京都市立芸術大学と成安造形大学との合同合評会を実施し、互いの教員や学生が意見交換しながら交流を深める場となった。

まとめ

紙の存在は、アーティストたちにとって大きいものだ。ギャラリートークでは、作家紹介と共に作品に込められたメッセージを読み取ってもらえるように、専門技法も紹介しながらわかりやすく説明することを心がけた。時代背景や分脈を知ることで、難しく見える作品を生み出す過程について、より深く考える機会となったであろう。学生たちにも自らの研究対象や創作活動に繋げてもらいたいと願っている。会期中には、出品作家や美術関係者の来校もあり、展示作品の出自についてや紙の作品にまつわる貴重な話を伺うことができた。

尚、展覧会終了後に記録集を作成。中谷至宏（成安造形大学教授）、



博物館学芸員資格課程の学生による作品展示実習の様子。



展覧会鑑賞・ギャラリートーク



京都市立芸術大学と成安造形大学との合同合評会。各大学から選出された学生が活動報告を行った。

長尾浩幸（成安造形大学教授）はカタログ執筆。加えて記録集に、中谷教授には、博物館学芸員資格課程の学生による作品展示実習についての報告。馬場晋作（成安造形大学准教授）は、作品展示と合同合評についての報告。吉岡俊直（京都市立芸術大学教授）からは、展覧会「ON PAPER 紙にとどまるもの」鑑賞と合同合評会についての報告。LAI BOHAN（成安造形大学研究生）は作品展示の支援についての報告をそれぞれ収録した。

展覧会記録

展覧会名称 ON PAPER 紙にとどまるもの

会期 2023年7月18日（火）～7月29日（土）

会期中無休 13日間（7/23オープンキャンパス）

会場 成安造形大学 [キャンパスが美術館] ギャラリーアートサイト、ギャラリーウインドウ

出品作家

鬮嘔、安東菜々、出原司、泉茂、井田照一、今井祝雄、岩名泰岳、パウル・ヴンダーリッヒ、瑛九、折元立身、片山雅史、川田英二、木村秀樹、木村利三郎、エンツォ・クッキ、黒田アキ、君平、児島サコ、ジョージ・シーガル、菅井汲、高田学、田中孝、谷平博、中路規夫、長尾浩幸、野田仁美、馬場晋作、ヤン・フォス、ジャン・ミシエル・フォロン、藤井俊治、船井裕、キース・ヘリング、舞原克典、元永定正、山口啓介、山本俊夫、山本容子、吉田克郎、吉原英里、吉原英雄、リチャード・リンドナー、レオノール・フィニ、若木くるみ など55点

企画・監修 長尾浩幸（成安造形大学教授）

カタログ執筆 中谷至宏（成安造形大学教授）

助成 成安造形大学特別研究助成

協力 中谷至宏 岡田修二 宇野君平 馬場晋作 高田学 中辻悦子 今井祝雄 木村秀樹 吉原英里 吉岡俊直 寺田駿志 阿部優輝 LAI BOHAN

阿部出版株式会社 株式会社河出書房新社 成安造形大学 総合領域 成安造形大学美術領域 順不同

来訪者数 210名

関連イベント ギャラリートーク 京都市立芸術大学と成安造形大学との合同合評会 詳細は別途記録集に記載

関連記事：

高嶋慈 多様な版面と作家の思考の跡 2023年7月28日（金）
京都新聞朝刊

「ON PAPER 紙にとどまるもの」展 レビューについては
AMeet をご参照ください。

<https://www.ameet.jp/feature/4793/>